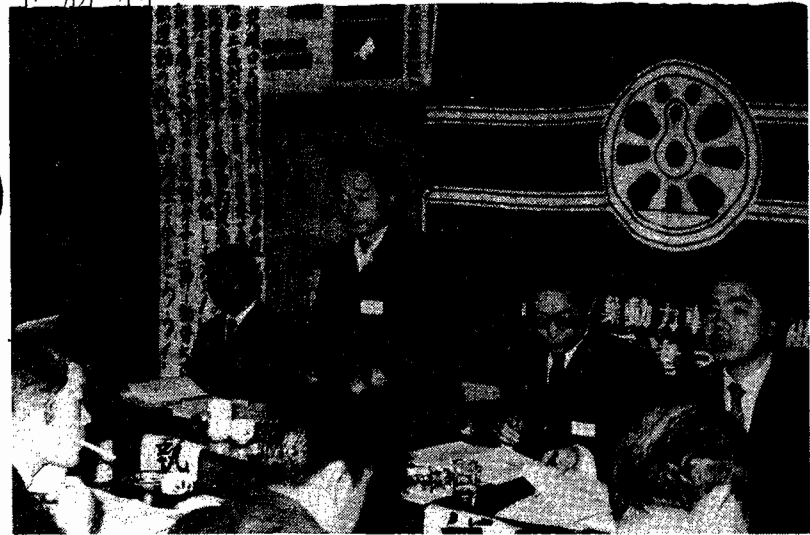


＝全員が活動家となって行動する支部＝ 木更津支部が5回定期大会開かれる



「一つの闘い、行事に文字通り支部組合員全員が力を出し合い、小さいながらも抜群の団結力・行動力を保持する木更津支部。力強くあいさつを述べ、奥原支部執行委員長。」

日刊 勤労千葉

82.11.12
No. 1193

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電二九三五〇六・公巻電三三二七二〇七)

第五回木更津支部定期大会は、支区講習室において支部組合員五二名中四八名の結集により成功裡に開催された。現在、権力はヤミ・カラキャンベーン・パス廃止等の攻撃を強めている。しかし我々は今こそ、こうした攻撃に対し真つ向うから対決し、勤労千葉の真価を発揮しなければならぬ。三里塚ジェット闘争と反合理化闘争の結合の中から、日本労働運動の未来をきりひらこうではないか。

「本部」革マルの裏切り許さず、仲裁々定完全実施「ゼネスト貫徹を勝ちとろう！」

一人一人が活動家となつて、全員が総決起しよう
奥原支部長 あいさつ
大会は、斎藤勇代議員を議長に選出し、進

大会延期承認のあと、経過報告・決算報告さらに、八二年度運動方針案・予算案提起のあと質疑に入り、①運転保安・久留里―上総亀山間の徐行問題 ②京葉線開業問題 ③中江選挙必勝体制確立について ④冬季要員について ⑤検修下廻り民託Ⅱ合理化とどう対決するのか ⑥区内諸要求の問題 ⑦自動スキ間調整器の不良化問題 ⑧出場車の不良化 ⑨乗車証問題 などまさに火花のちるような議論となった。
この中で、検修合理化における動労「本部」の裏切りが明らかになり、区内諸問題については、現場当局を厳しく追及していくことが確認された。大会は、最後に奥原支部長の音頭で、力感あふれる団結カンパニーを三唱し、成功裡に終了した。

められた。
冒頭奥原支部長から「我々をめぐむる状況はきわめて厳しいが、一人一人が活動家となり、今日の一連の攻撃を粉砕すべく全員が総決起しよう」と力強いあいさつを受けた。
つづいて本部山口副委員長から、①勤労千葉の真価を発揮し、中江顧問の船橋市議選勝利を勝ちとらなければならぬ。②三里塚・国鉄を基軸に秋年闘争を闘っていく決意 ③五七・一一をめぐむる状況 ④今日の政治情勢 ⑤勤労千葉結成の理念を思い出し、八三年政治決戦を勝ち抜く等、決意表明を含めた提起がなされた。

新しい労働運動の基盤を構築するために奮闘する

中江顧問が決意表明

つづいてあいさつに立った中江顧問は、①「緊急十一項目」の本質は、国鉄労働運動つぶしの攻撃であり、軍事大国化の攻撃である。②現在の政治情勢は明治憲法への回帰を策している。その骨子は「天皇制を主体とした国家体制」「交戦権を認める」「有事体制の確立」これは階級対決の接点であり、生活と平和を守るために闘わなければならない課題である。③今回の船橋市議選は、勤労千葉の名誉を担っているのみならず、政治反動との闘いであり、動労「本部」革マルとの最終結着をつける闘いである。と闘志あふれる許えであった。

参加しよう！そして共に闘おう！12月ゼネストを！

11.20労働者集会へ

秋闘ゼネスト貫徹、三里塚・国鉄決戦勝利労働者集会
日時：11月20日(土) PM5:30
場所：習志野市 産業振興会館 6F
主催：労組連 (動労ジェット闘争支援 労組活動家連絡交流会)
至上野 ← 京成津田沼駅 → 至千葉
産業振興会館

- 三里塚二期決戦勝利・成田用水策動粉砕
- 人勸・仲裁凍結打破、秋闘ゼネストへ
- 「国鉄再建臨時措置法案」国会上程粉砕 今秋国鉄決戦勝利
- 全民労協・右翼労戦「統一」粉砕
- 臨調・行革の尖兵Ⅱ動労革マル打倒

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！